

「白鷹山夏山開き」が開催されました

令和6年5月13日(月)に、白鷹山(しらたかやま)山頂休憩所で「令和6年度白鷹山夏山開き」が開催されまして、署員も参加し、登山等を安全快適に楽しまれるよう安全祈願が行われました。

当日はあいにくの天候でしたが、嶽原登山口の赤い鳥居をくぐり、大正年間に植林された荘厳な雰囲気漂う昭和天皇御成婚記念の美しい杉並木を進んでいきました。標高が上がるにつれ、新緑が美しい広葉樹林にかわりまして、雨に濡れて光り輝く木々の葉の眺めも格別です。好天のもとではお目に掛かれない、雨天ならではの光景です。

夏山開きは、安全祈願に続く白鷹町副町長による挨拶の後、山形県村山総合支庁森林整備課の担当者による山開き宣言により行われました。

夏山開きは例年、好天に恵まれるそうです。50人ほどの参加者の中からは、降雨は知っている限り記憶にない、この夏は良いシーズンになることを期待したい、との声が聞かれました。

白鷹山の山辺町側に所在する国有林は「日本美しい森お薦め国有林」にも指定されています。登山道には、美林の由来を記した案内看板や、植林当時尽力された山辺町畑谷区の方々や署員の名前が刻まれた石碑があり、往時をしのぶことができます。

また登山道には、雨水による路面の浸食を防ぐための「水切り」が丁寧に施されており、しっかり排水されておりました。

白鷹山が長い年月の間、特別な思い出をもって地域の方々に愛されていることが強く感じられるとともに、ご期待に応えるべく国有林の管理経営に力を注いで参りたいと、改めて認識いたしました。

